

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
1	4	小倉 裕子	(1) 地域包括ケアシステム構築の現状について	① 富士見町における「地域包括ケアシステム構築」の状況は。	町長
				② 医療・介護・住まい・介護予防・生活支援の連携が基本となり、多職種連携も必要になるため、町が中心になってコントロールする必要があると思うが、どのように関わっているか。	
				③ 高齢者が、「要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができること」が目途となっているが、病院への通院や買い物の支援、見守りは充分になされているか。	
				④ 在宅医療の現状を把握しているか。町はどのように支援しているか。	
				⑤ 支え合いマップ及び防災マップの更新頻度は。	
		(2) ファミリー・サポート・センター事業について	① 依頼会員、支援会員の人数は。年間の利用数は。周知は充分されているか。	教育長	
			② 現在、働きながら子育てしたり出産したりするには、公的な支援が必要である。ファミリー・サポート・センターと保育園では、どちらが柔軟に対応できる状況にあるか。		
			(3) コロナ禍による世帯の収入減少と子どもの教育について	① コロナ禍により世帯の所得格差が広がる中、学校教育は、塾に行ける子と行けない子の習熟度の格差がないようにしていくべきだと思うが、学校学習で完結できるか。	教育長
		② 子どもがタブレットを持ち帰って学習する機会も増えていると聞けるが、家庭で問題なくタブレットによる学習ができていないか。確認はどのように行っているか。			
		2	7	三井 新成	(1) 令和4年度町長方針における重点施策 産業振興の強化について
② 観光集客力の強化における、5年・10年後の入込人数の予測は。					
③ 農業の競争力の強化におけるハウス建設における支援再開の内容は。					
④ 商業の活力の強化として、調査によるまちの魅力を活かした町づくりについて検討とあるが、具体的目標は。					
⑤ 環境配慮型の産業の推進における下払い作業の補助金は、どの程度の適用範囲と金額を考えているか。					
(2) 観光振興施策の人流をよくするための今後の進め方について	① 町内の観光施設を周遊するうえでの幹線道路の整備をどう考えるか。			町長	
	② 隣接県からの観光客の動線をどう考えているか				
	③ 井戸尻縄文文化のブランド化を進めるうえで、北杜市からの人流をどう処理していくか。				
	④ エコラインの延伸と、北杜市からの道路の拡幅、もしくは迂回を考えられないか。				
	⑤ エコラインの延伸を望む町民の声があるが、せめて調査費をつける考えはないか。				

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
3	8	名取 武一	(1) 旧小川別荘跡地の太陽光発電事業について	① 事業者より事前協議書が提出されたと聞いている。今後のスケジュールは。	町長
			(2) 太陽光発電事業に関する条例改正について	① パブリックコメントの応募状況は。この対応と今後のスケジュールは。	町長
			(3) 太陽光発電への支援について	① 太陽光発電事業に関する条例の改正により、事業者による新たな太陽光発電事業は減少すると思われるが、町内で再生可能エネルギーを増やすことは必須。「太陽光発電システム設置補助金」の復活・拡充を。	町長
			(4) 福祉灯油の実施を	① 灯油は13年ぶりの高値。生活困窮者などに「福祉灯油」の実施を。	町長
			(5) 半農半×支援について	① 町への移住希望者の中に専門の仕事をしながら、自家菜園を含めた農業も経験したいという方も多いと聞いている。遊休農地の紹介など何らかの支援ができないか。	町長
4	10	五味 仙一	(1) 令和4年度町長方針農業の競争力強化について	① 再基盤整備の推進「農地の価値を上げ有効活用を推進」について想定している規模や今後の計画は。	町長
				② 花と高原野菜のブランド強化について、具体的な考えは。	
				③ 富士見ブランドを長年支えてきた専業農家の皆様への施策は。	
(2) 新規就農者、定年帰農者、新規後継者について	① それぞれの就農者の皆様への支援の実績と成果は。	町長			
	② 就農者の人材確保の現況は。				
(3) 情報基盤の整備について	① 現在の告知放送システムの2026年保守サービス終了に向け、次期告知放送を検討するとあるが、激変している気候情報や新型コロナウイルス感染症情報など、現有システムの拡充もまだ大切であると思うが考えは。	町長			
5	9	織田 昭雄	(1) 大雨災害や地震に強いまちづくりについて	① 昭和55年以前に建築された家屋の耐震工事の進捗状況は。また、火災報知器の普及率は。	町長
				② 富士見町のインフラに対する耐震はどの様な事が行われて、その対策は充分なされて来ているか。	
				③ 第1避難所や第2避難所の体制や備品等の備えは充分か。	
				④ 防災ガイドブックが各家庭に配られているが、住民に十分に理解できるような説明会を出来ないか。	
				⑤ 避難指示の住民への周知方法は万全か。そして、しっかりと伝達されているか。	
			(2) 町の商業環境の活性化について	① 富士見駅前商店街の銀行移転に伴い、町民が気軽に集える場所づくりに、町で借り受ける計画があるか。あればその詳細は。	町長
				② 現在町が取り組んでいる商業実態調査をどの様に活かして、商店街の活性化を進めていくのか、詳しい構想は。	
③ 現在の調査は何時頃終了して、商業活性化に活用する事業計画のタイムスケジュールはどの様に考えるか。					

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者				
6	3	矢島 尚	(1)	太陽光発電条例と環境保全条例について	① 条例の一部改正についてパブリックコメントでは、どのような意見が寄せられたか。	町長			
					② 国の法律などの改正は過半数であるが、両院で意見が相違した場合の衆議院再可決要件は2/3以上である。住民同意も全員ではなく、2/3くらいが妥当ではないか。				
					③ 公共施設周辺の考えは。				
					④ 開発計画の判断は、どこからがそのスタートか。				
					⑤ 今後の環境保全条例との整合性及び関連などの扱いは。				
			(2)	観光事業について	① 中部横断道開通による今後新たな観光戦略は。	町長			
					② 富士見高原リゾート創造の森に上下水道設備がないが、カート利用など営業面から必要と感じる。町の考えは。				
			(3)	諏訪地域高校再編の将来像について	① 旧第7通学区の県立高校の今後の在り方(将来像)の考えは。	町長 教育長			
					② 少子化により再編はあるか。				
					③ 富士見高校に対する考えは。				
			7	6	島 正孝	(1)	富士見太陽光条例改正への自信は	① 条例改正の動機は。	町長
								② これで町民の熱い思いに対応できると思うか。	
						(2)	小型水力発電の可能性の検討は	① 豊かな水量に恵まれた町内各地に、小型の水力発電機を設置して電力の地産地消を考えては。	町長
						(3)	ITを教育現場に導入するメリットとデメリットは	① 画一的教育の効果と弊害をどのように考えているか。	教育長
								② 独創的教育システムを持つ教員の意欲を生かす方法は。	
(4)	町長面会日を設けては	① 予約なしに町民が自由に町長と面談できる機会を設けては。				町長			
		② 内容によっては担当課長も同席させては。							
(5)	パノラマリゾートの国設移管をもう一步踏み込んで考えてみては	① 9月議会の一般質問に一步踏み込んで検討を促したい。				町長			
		② 動き出せば、町内の観光も商業も大きな地殻変動が期待できるが検討する考えは。							
(6)	太陽光条例の改正に伴う、専門家に依る検討委員会の開催方法について	① オブザーバーとして町民有志の参加は。				町長			
		② 一般公開を原則と述べられたが、どのような場合クローズするのか。							

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者				
8	2	五味 平一	(1)	これでいいのか町民への安全・安心の実例について	① 今年10月、町道から約3～4m先の空き家軒高さ約3mにスズメバチが巣作りをした。隣家の子どもが発見時はバスケットボール大であった。蜂は頻繁に出入りし非常に危険な状態、町道は区民はもちろん保育園の園児、通学にバス停まで歩行する小中学生、隣家の主人は役場に駆除の相談、家主とは連絡取れずその後取れても拒否、しかし役場は駆除は空き家の持主がやるべきこと、処理に一刻を争うのに実に場当たり的である。町長が言っている安全・安心これでいいのか説明を。	町長			
					② この種の事象に対し、町長は職員の理由はともあれ、所有者者に全てを解決させるよう指導されているのか。				
					③ 町長に直接対応を求められれば町長はどのような対応を実行されるか。行政としての原点である町民の生命・財産を守る立場から考えを。				
					④ 最終的に隣家の主人が虎の子の年金1万円を支払いスズメバチの巣の撤去は済んだが、なんとなく後味が悪いが考えは。				
			(2)	合併処理浄化槽設置事業について	① 町内に於いて合併処理浄化槽・単独処理浄化槽の設置数は。	町長			
					② 合併処理浄化槽設置において設置事業補助金の交付を受けている件数は。また令和になつての設置状況は。				
					③ 補助金の交付を受けた者のうち様式第2号による補助金交付の条件4項の確認方法は。またこれに違反している者はいるか。				
					④ 令和2年4月1日以降における補助金交付の総額は。また条件4項の違反者数に対する補助金交付の総額は。				
			(3)	南諏衛生センターのし尿処理施設等について	① 南諏衛生センターのし尿処理場は昭和47年に完成、平成4年全面改築し現在施設は29年が経過、し尿については平成5年を境に右肩下がり、浄化槽汚泥は平成11年を境に一旦は右肩下がりになるものの令和に入り上昇している。し尿処理量が下がり浄化槽汚泥が上がるということは汚泥の希釈が必要、処理機械も経年劣化し処理そのものに大きな影響が出ている。し尿処理方、建築物も含め今後の考えは。	町長			
			9	5	牛山 基樹	(1)	発表した14の政策「公共交通システム検討チーム」新設の進め方について	① 「公共交通システム検討チーム」新設の具体的な内容について	町長
						(2)	発表した14の政策「町ぐるみICT化の推進」の考え方について	① 「町ぐるみICT化の推進」の具体的な内容について	町長
						(3)	4つのキーワード「持続可能なまちづくり」について	① 「ゼロカーボン達成を目指して」の具体的な行動計画について	町長

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者		
10	1	川合 弘人	(1)	ウツリスムための政策と、有効的な少子化対策、男女共同参画社会の形成は	①	ウツリスムステーションの実績と、それをどう評価しているか。女性スタッフを投入した狙いは。	町長
					②	移住相談の拠点と、人口減対策の拠点は、どのように整合性を取っているのか。	
					③	出生数、出生率など少子化の現状は。	
					④	少子化の根本的な要因をどう考えるか。少子化対策をどう進めているのか。	
					⑤	男女共同参画社会の形成に向けての取り組みはどうか。官民で成果は出ているか。	
			(2)	中部横断自動車道の山梨-静岡間が全線開通したメリットをどう活かすか	①	最大のメリットは静岡県への時間短縮だと思う。国道52号に比べて、静岡県へのアクセス時間が大幅に短縮された。それを観光、農業、工業製品の輸出など、経済活動等にどう活かしていくのか。	町長
					②	清水港への時間短縮も図られた。クルージングの観光地訪問等、港を活用する新たな戦略はあるか。	
					③	防災面から、山梨県に隣接する富士見町は、静岡県内企業のバックアップ拠点にもなり得る。どのようなアプローチ等を考えているのか。	
					④	町内2大リゾート施設への影響をどうみるか。	
			(3)	釜無ホテイアツモリソウ再生・保護活動に対する町の姿勢	①	今年度、人工培養苗の対面販売が始まり、インターネット販売も行った。再生・保護は新たな段階を迎えたが、町は今後も支援を継続していくか。	町長
					②	人工培養苗を町の特産品、ブランドとして日本全国、世界へ発信していく考えはあるか。観光に活用する施策はあるか。	
			(4)	井戸尻考古館の新館構想	①	全国各地の考古館、博物館は、その地域の特徴を取り入れているものが多い。複合施設としての基本計画を、どのような形で設計に反映させていくのか。具体的な考えは。	町長 教育長

12月 6日(月) 5名 1番 ~ 5番
7日(火) 5名 6番 ~ 10番